

陥没リスク診断でタイの道路強靱化に貢献 多発する道路陥没事故の防止へ

国際協力機構(JICA)は7月16日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」においてジオ・サーチ株式会社(東京都大田区、富田洋代表取締役社長)が提案する「日本の道路陥没リスク診断技術を活用した道路ネットワークのレジリエンス強化に係る案件化調査」(タイ国)を採択しました。

タイでは、経済成長と共に地下利用の高度化が進んでいますが、2011年の大洪水以降、地下構造物等と地下水の変動の影響と考えられる道路の陥没事故が多数発生しています。道路陥没は多大な人的被害及び経済的な損失につながるため、未然に大事故を防止するための取組みが重要です。

提案企業は、自走式探査車「スケルカ」を用い、地中レーダ装置により最高速度時速60kmで走行しながら路面下の空洞を探査し道路の安全性を診断するサービスを提供しています。同技術は2015年国連防災世界会議の併催イベント「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」第一回表彰式で「特別顧問賞 古屋圭司賞」を受賞するなど、注目を集めています。



スケルカの概要



特別顧問賞 受賞

本案件化調査では、タイでの陥没診断サービスのニーズと該当技術の適用性を評価し、タイ運輸省国道局や運輸省地方道路局、バンコク都などとの協力のもと、先進的な路面陥没対策の立案を目指す計画です。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度補正予算分並びに2015年度第1回分は本年3月に公示を行いました。94件の応募のうち32件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2014年度補正予算/2015年度第1回公示の採択結果について

URL:http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 山田(案件担当)、野村(広報担当)
 TEL 03-5226-9283 e-mail: pdtfs@jica.go.jp